

主要参考文献

- 阿部秋生・他(校注・訳)(1994～1998)『源氏物語』小学館
- 天野みどり(2002)『文の理解と意味の創造』笠間書院
- 庵 功雄(2001)『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』スリーエ
ーネットワーク
- 井島正博(2011)『中古語過去・完了表現の研究』ひつじ書房
- 石垣謙二(1955)『助詞の歴史的研究』岩波書店
- 石綿敏雄(1999)『現代言語理論と格』ひつじ書房
- 井上和子・他(1999)『生成言語学入門』大修館書店
- 井上 優(2002)『日本語文法のしくみ』研究社
- 今泉喜一(2000)『日本語構造伝達文法』摇籃社
- 今泉喜一(2003)『日本語構造伝達文法 発展A』摇籃社
- 今泉喜一(2005)「『古希おめでとうございます』の構造—慣用句の構造—」
『教師づくり教材づくり日本語教育』河原崎幹夫先生古稀記念論文集実
行委員会 凡人社
- 今泉喜一(2006)「古代日本語のテンスとアスペクトー図示の可能性を探る」
『実験音声学と一般言語学』城生佑太郎博士還暦記念論文集編集委員会
東京堂出版
- 今泉喜一(2009)『日本語態構造の研究—日本語構造伝達文法・発展B—』
晃洋書房
- 今泉喜一(2012)『日本語構造伝達文法 改訂12年版』摇籃社
- 梅田博之(1991)『スタンダード ハングル講座 2 文法・語彙』大修館書店
- 大津有一(1964)『伊勢物語』岩波書店
- 大西泰斗／ポール・マクベイ(2011)『一億人の英文法』ナガセ
- 大野 晋(1955)「萬葉時代の音韻」『萬葉集大成6 言語篇』平凡社
- 大野 晋(1978)『日本語の文法を考える』岩波書店
- 大野 晋(1988)『日本語の文法【古典編】』角川書店
- 奥津敬一郎(1978)『「ボクハ ウナギダ」の文法—ダとノー』くろしお出版
- 奥津敬一郎・他(1986)『いわゆる日本語助詞の研究』凡人社
- 奥津敬一郎(1996)『拾遺 日本語文法論』ひつじ書房
- 小田 勝(2007)『古代日本語文法』おうふう
- 落合太郎(訳)(1967)『方法序説』岩波書店／Descartes(1637) *DISCOURSE
DE LA MÉTHODE A LEYDE/De l'Imprimerie de Jan Maire*
- 尾上圭介(2001)『文法と意味I』くろしお出版
- 加藤重広(2003)『日本語修飾構造の語用論的研究』ひつじ書房

参考文献

- 金谷武洋 (2002) 『日本語に主語はいらない』 講談社
- 金谷武洋 (2003) 『日本語文法の謎を解く－「ある」日本語と「する」英語』 筑摩書房
- 蒲谷 宏 (2013) 『待遇コミュニケーション論』 大修館書店
- 川端善明 (1997) 『活用の研究』 I, II 清文堂
- 木田章義 (1988) 「古代日本語の再構成」 『ことばと文字』 中央公論社
- 北原保雄 (1984) 『日本語文法の焦点』 教育出版
- 北原保雄 (2010) 『日本語の形容詞』 大修館書店
- 清瀬義三郎則府 (1989) 『日本語文法新論－派生文法序説－』 桜楓社
- 清瀬義三郎則府 (1991) 『日本語學とアルタイ語學』 明治書院
- 清瀬義三郎則府 (2013) 『日本語文法体系新論－派生文法の原理と動詞体系の歴史』 ひつじ書房
- 金水 敏 (2000) 「時の表現」『時・否定を取り立て』 岩波書店
- 金水 敏 (2002) 「日本語文法の歴史的研究における理論と記述」『日本語文法』 2巻2号 日本語文法学会
- 金水 敏 (2006) 『日本語存在表現の歴史』 ひつじ書房
- 金田一春彦 (1967) 『日本語音韻の研究』 東京堂出版
- 釘貫 亨 (1996) 『古代日本語の形態変化』 和泉書院
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテクスト－現代日本語の時間の表現－』 ひつじ書房
- 工藤真由美 (2004) 『日本語のアスペクト・テンス・ムード体系 標準語研究を超えて』 ひつじ書房
- 工藤真由美 (編) (2007) 『日本語形容詞の文法－標準語研究を超えて』 ひつじ書房
- 桑原博史 (監修) (1990) 『伊勢物語・大和物語』 三省堂
- 小池清治 (1994) 『日本語はどんな言語か』 筑摩書房
- 小島憲之・他(校注・訳) (1994~1996) 『萬葉集』 小学館
- 小林賢次 (1996) 『日本語条件表現史の研究』 ひつじ書房
- 小松英雄 (1999) 『日本語はなぜ変化するか [母語としての日本語の歴史]』 笠間書院
- 佐久間淳一 (編) (2008) 『言語学基本問題集』 研究社
- 佐久間まゆみ (1990) 「接続表現」 『日本語の文章・談話』 桜楓社
- 佐久間まゆみ (2002) 「接続詞・指示詞と文連鎖」 『日本語の文法4 複文と談話』 岩波書店
- 佐治圭三 (1991) 『日本語の文法の研究』 ひつじ書房

- 城田 俊 (1998) 『日本語形態論』 ひつじ書房
- 鈴木重幸 (1972) 『日本語文法・形態論』 むぎ書房
- 鈴木重幸 (1989) 「動詞の活用形・活用表をめぐって」 『ことばの科学2』 むぎ書房
- 鈴木重幸 (1992) 「主語論をめぐって」 『ことばの科学5』 むぎ書房
- 鈴木重幸 (1996) 『形態論・序説』 むぎ書房
- 鈴木 泰 (1999) 『改訂版 古代日本語動詞のテンス・アスペクトー源氏物語の分析ー』 ひつじ書房
- 鈴木 泰 (2009) 『古代日本語時間表現の形態論的研究』 ひつじ書房
- 鈴木 泰 (2012) 『語形対照 古典日本語の時間表現』 笠間書院
- 鈴木康之 (1977) 『日本語文法の基礎』
- 高橋 潔・他 (編) (2007) 『基礎からの 新総合英語』 (六訂版) 数研出版
- 高橋邦年 (監訳) (2007) 『ケンブリッジ 現代英語文法入門』 Cambridge University Press / R.Huddleston, G.K.Pullum (2005) *A Student's Introduction to English Grammar* Cambridge University Press
- 高橋太郎 (2003) 『動詞九章』 ひつじ書房
- 高橋太郎・他 (2005) 『日本語の文法』 ひつじ書房
- 田窪行則 (編) (1994) 『日本語の名詞修飾表現』 くろしお出版
- 竹林一志 (2004) 『現代日本語における主部の本質と諸相』 くろしお出版
- 田中稔子 (1990) 『田中稔子の日本語の文法—教師の疑問に答えますー』 近代文藝社
- 田中稔子 (2001) 『続・田中稔子の 日本語がわかる』 近代文藝社
- 谷脇道彦 (1992) 『日本語の文法 論集II』 葦書房
- 玉村文郎 (編) (1998) 『新しい日本語研究を学ぶ人のために』 世界思想社
- 坪井美樹 (2007) 『日本語活用体系の変遷 増訂版』 笠間書院
- 寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味I』 くろしお出版
- 豊地正枝 (2004) 『「XはYが+述語形容詞」構文の認知論的意味分析ー「花は桜がいい」構文の意味分析を中心に』 慧文社
- 中島文雄 (1987) 『日本語の構造』 岩波書店
- 永田親義 (1994) 『独創を阻むもの』 地人書館
- 中西宇一 (1996) 『古代語文法論 助動詞篇』 和泉書院
- 西尾寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』 国立国語研究所報告 44 秀英出版
- 西原鈴子・他 (1988) 『形容詞』 荒竹出版
- 仁田義雄 (1991) 『日本語のモダリティと人称』 ひつじ出版

参考文献

- 仁田義雄（編）（1993）『日本語の格をめぐって』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会（編）（2003）『現代日本語文法4 第8部 モダリティ』
くろしお出版
- 丹羽一彌（2005）『日本語動詞述語の構造』笠間書院
- 丹羽一彌（編著）（2012）『日本語はどのような膠着語か 用言複合体の研究』
笠間書院
- 丹羽哲也（1996）「ル形とタ形のアスペクトとテンスー独立文と連体節ー」
『人文研究』48-10 大阪市立大学文学部
- 丹羽哲也（1997）「連体節のテンスについて」『人文研究』49-5 大阪市立大
学文学部
- 丹羽哲也（2006）『日本語の題目文』和泉書院
- 野田尚史（1991）『はじめての人の日本語文法』くろしお出版
- 野田尚史（1996）『「は」と「が」』くろしお出版
- 野田尚史（2012）「動詞の活用論から述語の構造論へ—日本語を例として拡
大活用論の提案ー」三原健一・他（編）『活用論の前線』くろしお出版
- 野田尚史・他（2002）『複文と談話』岩波書店
- ハイコ・ナロク（1998）「日本語動詞の活用体系」『日本語科学』4 国立国
語研究所
- 橋本 修（2001）「古典日本語の完了形をめぐる研究動向」つくば言語文化
フォーラム（編）『「た」の言語学』ひつじ書房
- 林 栄一（監訳）（1975）『ブロック日本語論考』研究社／ Roy A. Miller（編）
（1975）*Bernard Bloch on Japanese* Yale University Press
- 藤井貞和（2010）『日本語と時間ー〈時の文法〉をたどる』岩波書店
- 堀口和吉（1995）『「～は～」のはなし』ひつじ書房
- 益岡隆志（1987）『命題の文法—日本語文法序説』くろしお出版
- 益岡隆志（1991）『モダリティの文法』くろしお出版
- 益岡隆志（編）（1993）『日本語の条件表現』くろしお出版
- 益岡隆志・他（編）（1995）『日本語の主題と取り立て』くろしお出版
- 益岡隆志（編）（2004）『主題の対照』くろしお出版
- 益岡隆志（2012）「日本語動詞の活用・再訪」三原健一・他（編）『活用論の
前線』くろしお出版
- 町田 健（2000）『日本語のしくみがわかる本』研究社出版
- 町田 健（2000）『生成文法がわかる本』研究社出版
- 松下大三郎（1928）『改撰標準日本文法』中文館／1984 勉誠社
- 松村 明（編）（1969）『古典語現代語 助詞助動詞詳説』學燈社

- 松本克己（1995）『古代日本語母音論－上代特殊仮名遣の再解釈』ひつじ書房
- 松本克己（2006）『世界言語への視座－歴史言語学と言語類型論－』三省堂
- 松本泰丈（編）（1978）『日本語研究の方法』むぎ書房
- 三浦つとむ（1975）『日本語の文法』勁草書房
- 三尾 砂（2003）『三尾砂著作集Ⅰ』ひつじ書房
- 三尾 砂（2003）『三尾砂著作集Ⅱ』ひつじ書房
- 三上 章（1960）『象は鼻が長い』くろしお出版
- 三上 章（1963）『日本語の論理－ハとガー』くろしお出版
- 三上 章（1970）『文法小論集』くろしお出版
- 三上 章（1972）『現代語法序説』くろしお出版
- 三上 章（1972）『続・現代語法序説』くろしお出版
- 三上 章（2002）『構文の研究』くろしお出版
- 南不二男（1974）『現代日本語の構造』大修館書店
- 南不二男（1993）『現代日本語文法の輪郭』大修館書店
- 三原健一（1992）『時制解釈と統語現象』くろしお出版
- 三原健一・仁田義雄（編）（2012）『活用論の前線』くろしお出版
- 宮崎和人他（2002）『モダリティ』くろしお出版
- 村木新次郎（1991）『日本語動詞の諸相』ひつじ書房
- 村田美穂子（1997）『助辞「は」のすべて』至文堂
- 村田美穂子（2008）『体系 日本語文法』すずさわ書店
- 森岡健二（1974）『シンポジウム日本語② 日本語の文法』學生社
- 森田良行（2002）『日本語文法の発想』ひつじ書房
- 森山卓郎・他（2000）『モダリティ』岩波書店
- 築瀬一雄（訳注）（2010）『方丈記』（改版）角川学芸出版
- 山内洋一郎（2003）『活用と活用形の通時的研究』清文堂出版
- 山岡政紀（2000）『日本語の述語と文機能』くろしお出版
- 山岡政紀（2008）『発話機能論』くろしお出版
- 山口堯二（1996）『日本語接続法史論』和泉書院
- 山口佳紀（1985）『古代日本語文法の成立の研究』有精堂
- 山田敏弘（2004）『国語教師が知っておきたい日本語文法』くろしお出版
- 山梨正明（2000）『認知言語学原理』くろしお出版
- 山本秀樹（2003）『世界諸言語の地理的・系統的語順分布とその変遷』溪水社
- 横林宙世・下村彰子（1988）『接続の表現』荒竹出版
- 吉川武時（1989）『日本語文法入門』アルク
- 吉川武時（編）（2003）『形式名詞がこれでわかる』ひつじ書房

参考文献

渡辺正数（1975）『教師のための口語文法』右文書院

渡辺 実（1974）『国語文法論』笠間書院

『岩波 古語辞典』（補訂版）大野 晋・他 岩波書店 1990

『角川新版 古語辞典』久松潜一・他 角川書店 1993

『現代新国語辞典 改訂第三版』金田一春彦（編）学習研究社 2002

『古典基礎語辞典』大野 晋（編）角川学芸出版 2011

『小学館 古語大辞典』中田祝夫・他（編）小学館 1983

『全訳古語例解辞典 第二版』北原保雄（編）小学館 1994

『明鏡国語辞典 第二版』北原保雄（編）大修館書店 2010

『日本語文法大辞典』山口明穂・秋本守英（編）明治書院 2001

『日本文法大辞典』松村 明（編）明治書院 1971

アメリカ海軍天文台（2013年11月1日確認）

<http://tdc-www.harvard.edu/software/catalogs/ua2.html>

“USNO-A2.0: A Catalog of Astrometric Standards”

文化庁（2013年11月1日確認）

http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/joho/kakuki/01/tosin06/04.html

*本書中の「万葉」は「万葉集」，「源氏」は「源氏物語」，「大和」は「大和物語」，「伊勢」は「伊勢物語」，「方丈記」は「方丈記」を指す。